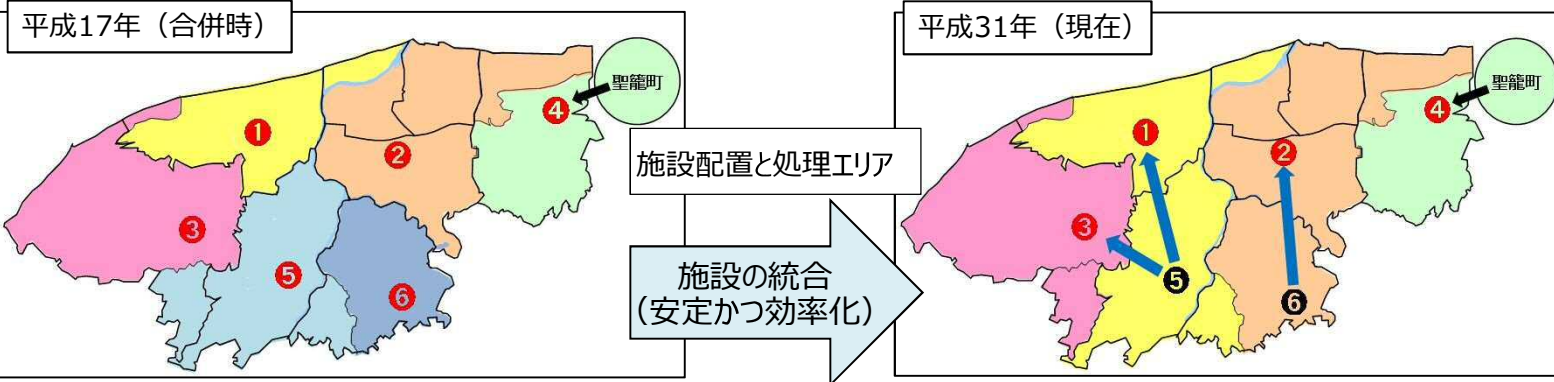


1. 経緯・現状

(1) 施設統合



施設名	所管	規模	稼働開始		規模	発電能力 (kW/h)	稼働年数
① 新田清掃センター	新潟市	360t/日	S61年 11月	更新 (H24.3竣工)	① 330t/日	7,800	約7年
② 亀田清掃センター	新潟地区広域清掃事務組合	390t/日	H9年 4月	基幹改良工事 (H24年~H27年)	② 390t/日	5,500	約22年
③ 鎧潟クリーンセンター	巻町外三ヶ町村衛生組合	120t/日	H14年 4月		③ 120t/日	1,500	約17年
④ 豊栄環境センター	豊栄郷清掃施設処理組合	130t/日	S56年 1月		④ 130t/日	なし	約38年
⑤ 白根グリーンタワー	白根地域広域事務組合	150t/日	H6年 11月	H23年度末廃止	⑤		廃止
⑥ 新津クリーンセンター	新津市	144t/日	H7年 1月	H27年度末廃止	⑥		

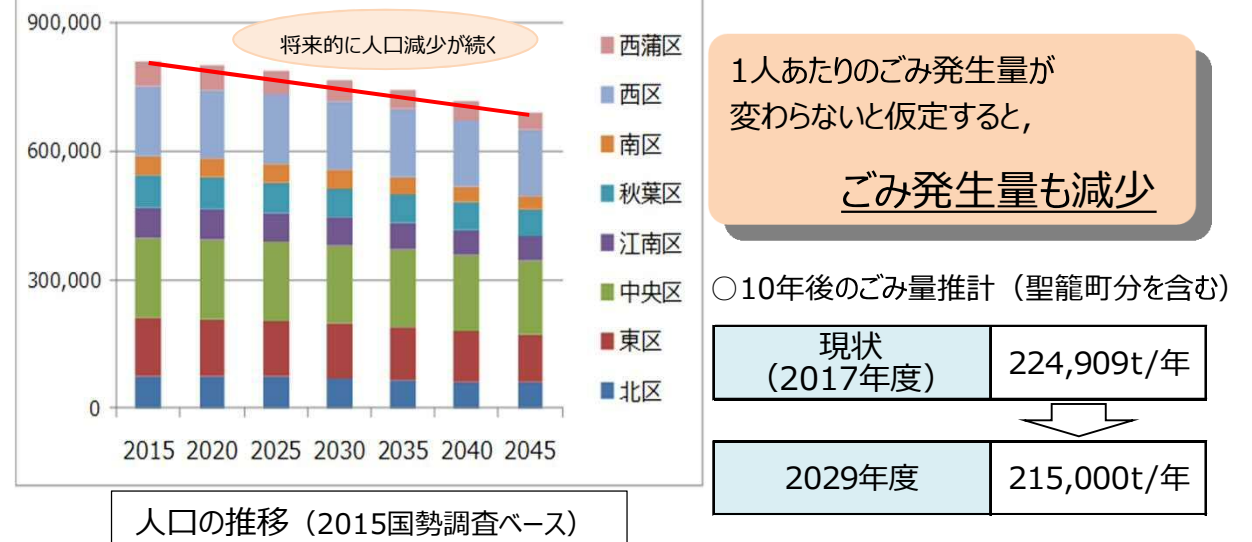
(2) 処理量、処理経費、余熱利用の状況

施設名	運転方法	処理量 〔t〕	処理経費 (3か年平均) 〔千円〕	余熱利用状況			
				(電気)			(熱)
				発電 電力量 〔MW〕	売電 電力量 〔MW〕	余熱利用先 送電量 〔MW〕	
新田	委託 (DBO)	88,000	704,968	42,242	21,863	・アクアパーク 1,773 ・破碎処理施設 1,355	・アクアパーク ・破碎処理施設
亀田	一部委託 (夜間・休日)	100,507	703,196	33,953	10,296	・粗大処理施設 300	・田舟の里
鎧潟	委託	19,273	762,706	4,517	70	なし	なし
豊栄	直営	17,129	436,551	発電設備なし			なし
計		224,909	2,607,421				

平成29年度実績 (処理経費はH27~H29の平均値) ※大規模工事を除く

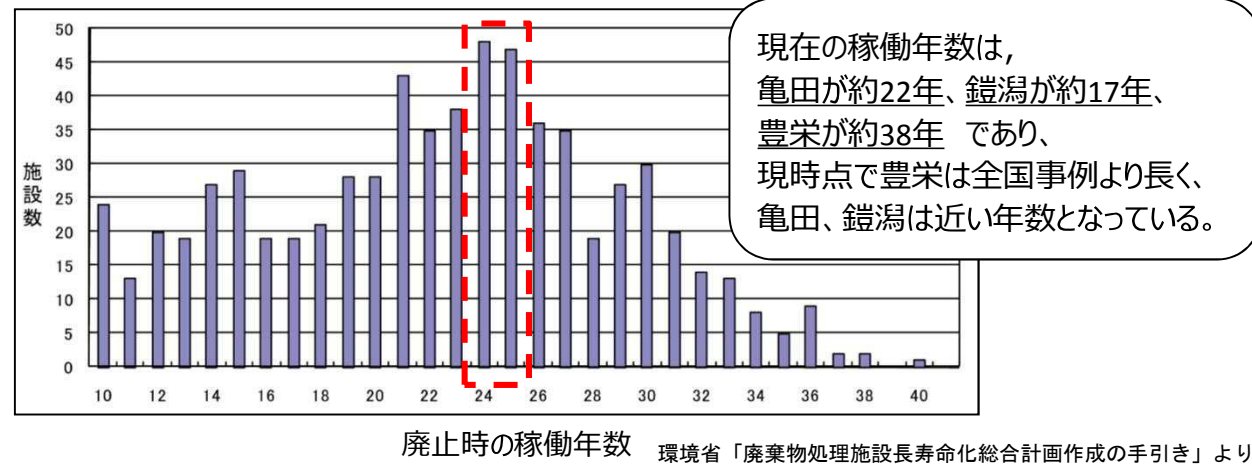
2. 現状の課題

(1) 人口とごみ量の推移



(2) 施設の耐用年数

● 全国の事例を見ると、焼却施設の稼働年数は25年程度が多くなっている。



3. 焼却施設の今後のあり方

- 将来的に、ごみ量は減少
 - 亀田、鎧潟、豊栄は更新を検討する時期
- ⇒施設更新と更なる統廃合により、安定かつ効率的な処理体制の構築が必要

(参考) 本市と人口が同程度の政令市の処理量及び稼働施設数

	人口 H30.1.1	H29処理量 t/年	稼働施設数
千葉市	967,832	237,244	2 施設
静岡市	706,287	231,654	
浜松市	807,013	249,110	
相模原市	718,192	194,676	
熊本市	734,317	232,927	
北九州市	961,024	463,592	3 施設
堺市	840,622	258,957	